第三回 科学技術系専門職の男女共同参画実態調査より

若手のキャリア支援に 関する意識調査

- 生態学会の特徴と2008年からの変化ー

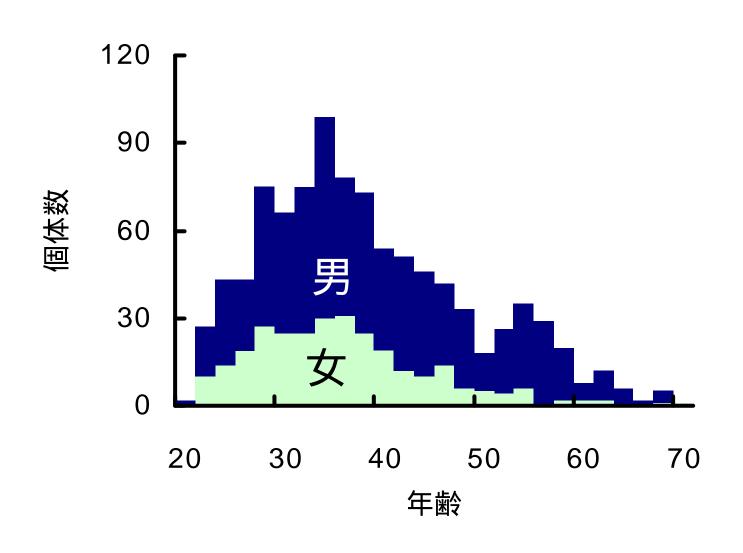
キャリア支援専門委員会

第三回 科学技術系専門職の 男女共同参画実態調査

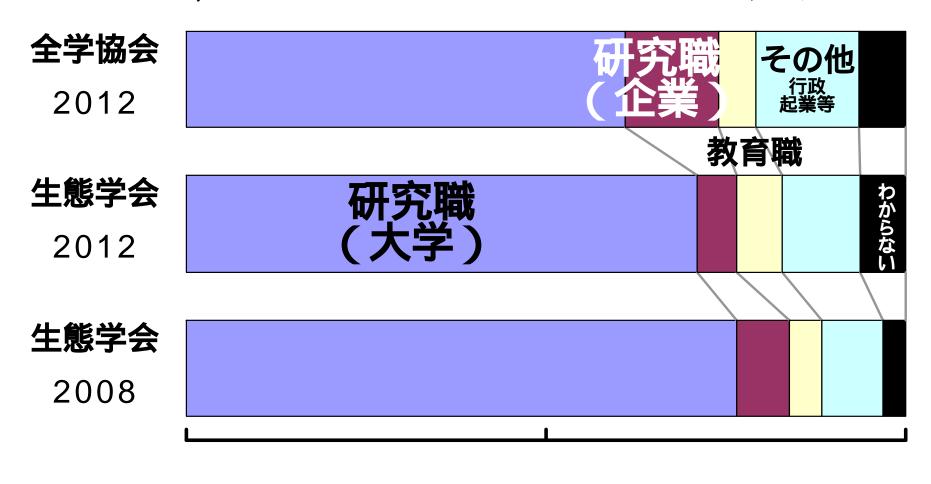
平成24年11-12月に 男女共同参画学協会連絡会が実施

五年間隔 98学協会 総計16,000人

生態学会員 972名 (22%) が回答 前回2008年は12%



将来希望する職は、 依然、大学での研究を強く志向

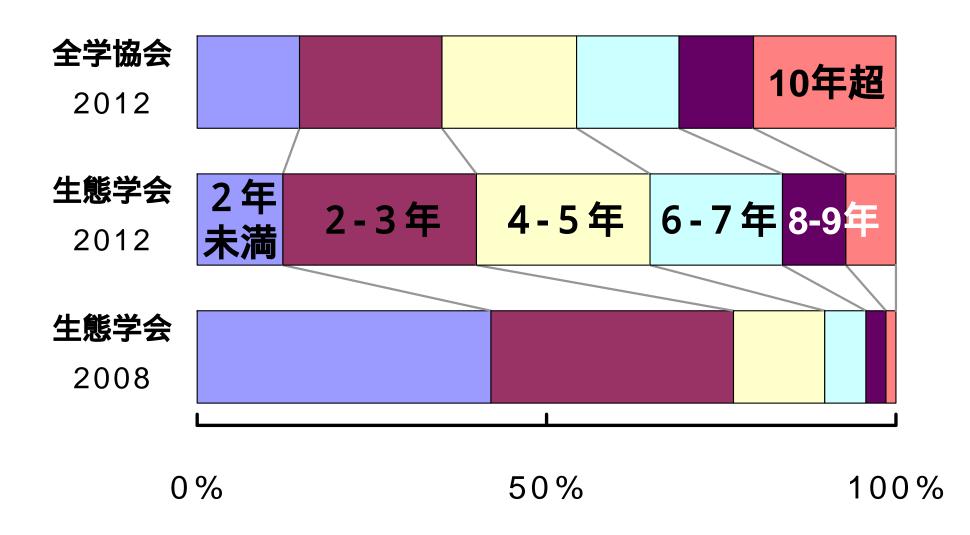


0%

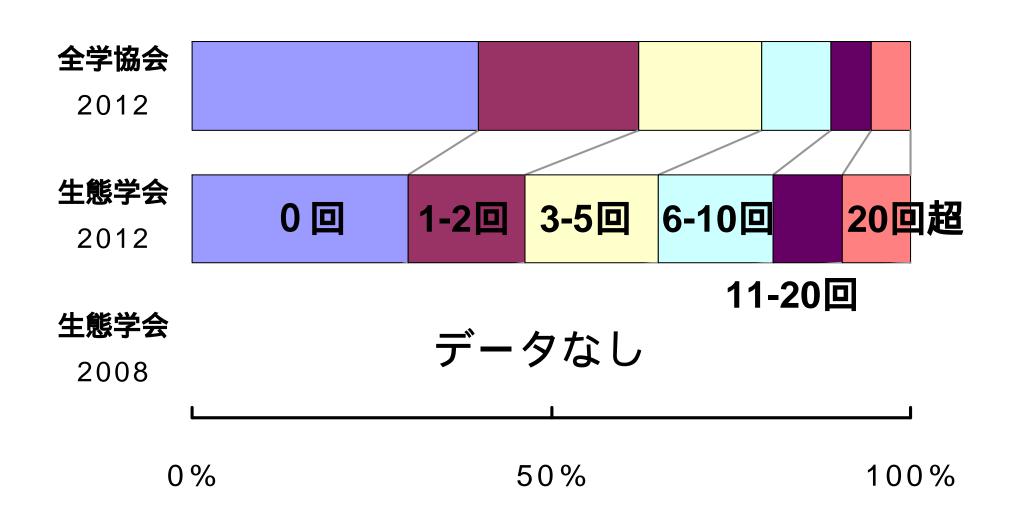
50%

100%

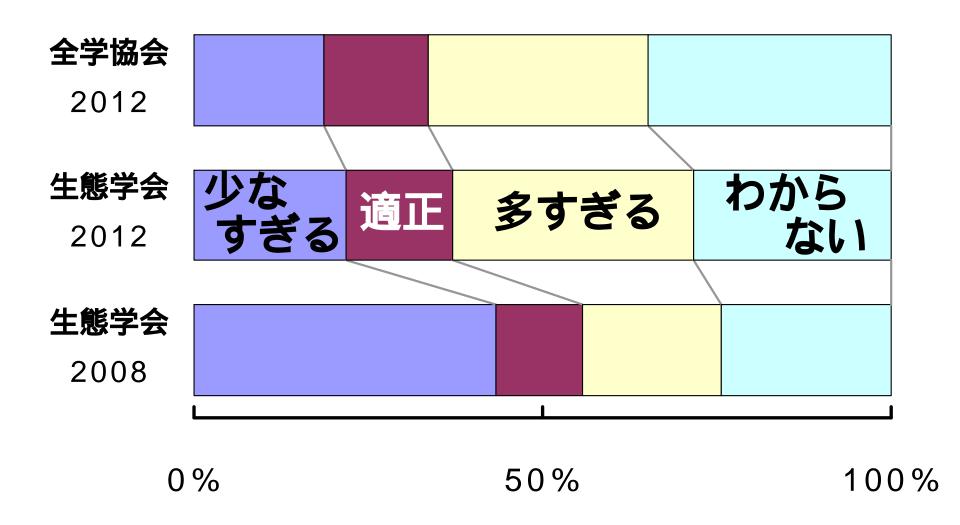
任期付在職年数が長期化



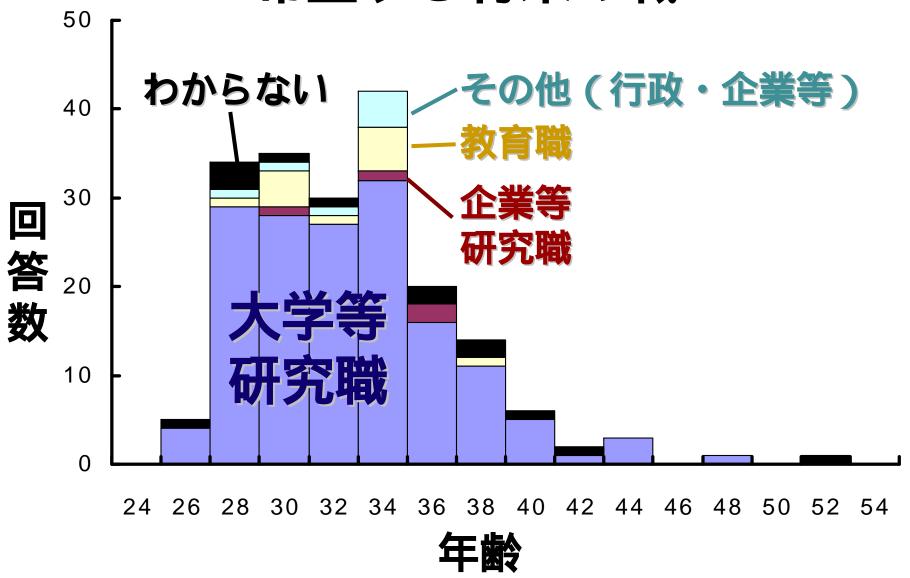
人事公募への応募回数



ポスドクの数は適正か?



生態学会員のポスドクが 希望する将来の職



非ポスドクを含む生態学会員の望む キャリア支援

```
常勤研究職の拡充
科学技術行政職の拡充
リサーチアドミニストレーター職の創設
高校教員博士枠の活用
ポスドク年齢制限の廃止
異業種との交流機会の提供
キャリアサポートセンターの設置
社会との関係に関する教育
起業支援制度
              1000
      500
                       1500
```

回答数

第三回 科学技術系専門職の 男女共同参画実態調査

解析報告書

平成 25 年 8 月

男女共同参画学協会連絡会

男女共同参画学協会連絡会URL http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/enquete.html